



Illustration: Y. Aoyama

SMFラウンドテーブル 2010

県内で意欲的な活動を展開するアート関係者、
アート NPO の参加により、昨年に引き続きラウンドテーブルを開催し、
活動発表・意見交換・交流・協働の契機とします。

2010 年 12 月 18 日 (土)

10:30～17:00 (懇親会: 17:30～)

埼玉県立近代美術館 講堂

〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1

(JR京浜東北線「北浦和」駅西口徒歩3分、東京方面からは大宮行きをご利用ください)



写真はラウンドテーブル 2009

参加
申し込み

エントリーシート①に記入の上、メール (SMF.info@artplatform.jp)、FAX (048-824-0118)、または郵送 (〒330-0061 さいたま市浦和区常盤9-30-1 埼玉県立近代美術館内) で「SMF ラウンドテーブル 2010」係宛て 12 月 10 日 (金) 必着でお送りください。エントリーシートはホームページ <http://artplatform.jp> から出力していただけます。エントリーシートの送付をご希望の方は SMF 事務局 (tel: 048-824-0110) まで申し付けください。

アート
バンク
登録

参加団体・個人の活動概要を紹介するファイルを作成、ラウンドテーブル 2010 参加者に配布するとともに、SMF ホームページに掲載します。登録ご希望の方は、エントリーシート②(アートバンク登録用) をご提出ください。

主催: 埼玉県立近代美術館・「交差する風・織りなす場」実行委員会

企画協力: キタミン・ラボ舎

問い合わせ: 埼玉県立近代美術館内「交差する風・織りなす場」実行委員会事務局 tel: 048-824-0110 / fax: 048-824-0118 / e-mail: SMF.info@artplatform.jp

SMFは身近な場所でアートを享受し支援し
再創造するプラットフォームとめざしています。

<http://artplatform.jp>

SMFラウンドテーブル 2010

2010年12月18日(土) 10:30～17:00 (懇親会:17:30～)

埼玉県立近代美術館 講堂

美術・音楽・舞踊・建築・文学…。SMFの多彩なアート活動はさまざまな出会いと協働に育まれてきました。

「SMF ラウンドテーブル」は、アート系 NPO やアーティスト、芸術施設関係者、アートコーディネーターや愛好家など、アートの自由な感性を大切にする人々のネットワークづくりを目指して開催されます。埼玉県内で意欲的な活動を展開している人々が出会い、それぞれの多様な活動を知るとともに、課題を共有して互いに学び合い、相互の交流と新たな協働の契機となることをめざしています。コラボレーションの輪を広げ社会的な発信力を高めながら、活発な芸術文化活動の持続を可能にする環境づくりをとともに考える場でもあります。どうぞふるってご参加ください。



日 程

10:30 開会・あいさつ・オリエンテーション

10:45～12:30 参加団体・個人の活動事例発表(10分×10組予定)

〈昼食休憩〉

13:45～14:30 アーティスト・プレゼンテーション
「プロジェクトの実践から」(15分×3組)

「アーティストがいない」wah 南川憲二

wah は各地を訪れ、その場で一般募集した参加者とその場で出し合ったアイデア、あるいはその街で集めたアイデアを即興的に実行する一過性の参加型表現集団である。今回は、これまでの活動の中で最も長期滞在して活動している埼玉・北本の活動を中心に、過去の活動実践例等を紹介しします。

「祭りの作り方」KOSUGE1-16 土谷享

あいちトリエンナーレ出品作「長者町山車プロジェクト」や、巨大サッカーゲーム「AC-21」、「どんどこ! 巨大紙相撲」を紹介しします。

「観客」の時代に向けて」Port B 高山明

F/T10 (フェスティバル/トーキョー10)で一月に渡って行われたプロジェクト『完全避難マニュアル 東京版』を中心に、Port B が模索してきた観客論を軸にした演劇の試みを紹介することで、社会の中における演劇の可能性を問い直します。

14:30～14:50 アーティスト3者によるディスカッションとグループ分け

〈休憩〉

15:00～16:15 分科会

上記の3名のアーティストをファシリテーターとして
「アートに人をまきこむ」をキーワードに3つの分科会を設け、グループ討議

〈休憩〉

16:25～17:00 各分科会の発表・まとめ

17:00 閉会

17:30～ 交流懇親会(会費制)

アーティスト紹介

wah 南川憲二



主な活動の場として、「wah lab」東京都現代美術館(川保正「通路」展内)、「wah office」埼玉県北本市など。主な参加プロジェクトとして、「すみだ川アートプロジェクト 2009」(東京)、「大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ 2009」(新潟)、「A Blow to the Everyday」(香港・中国)などがある。



KOSUGE1-16 土谷享



車田智志乃、土谷享のアーティストユニット。活動を通じて「もちつもたれつ」という関係性をつくります。土谷享 1977年生まれ、2010年「あいちトリエンナーレ 2010」、2008年「日常の喜び展」、2005年「横浜トリエンナーレ 2005」他



撮影: 石田亮介

Port B 高山明



演出家。演劇ユニットPort B 主宰。現実の都市や社会に存在する記憶や風景、メディアなどを引用し再構成しながら作品化する手法は、演劇の可能性を拡張する試みとして国内外で注目されている。



プロフィール撮影: 江森康之
プロジェクト撮影: 蓮沼昌宏

埼玉県立近代美術館

